

●日本自律神経学会会誌「自律神経」投稿規定（2026年3月31日改定）

投稿規定は適宜改定されるので、最新の投稿規定に従うこと。

A) 投稿の募集と採否

1. 本誌は自律神経に関する価値ある論文で、国内外の他雑誌に掲載されていない、現在投稿中でない和文または英文による論文を受付ける。
2. 筆頭著者は本会々員に限る。但し、特別講演、教育講演、シンポジウムの原稿の著者は会員である必要はない。
3. 全執筆者が研究の遂行と論文の作成に関与し、全執筆者によって投稿が承諾されたものとする。投稿論文が日本自律神経学会雑誌に掲載される場合は、その著作権を日本自律神経学会に譲渡することに全執筆者が同意したものとする。
4. 原稿は投稿規定に従い、体裁がととのっていないといけない。
5. 原稿の採否は査読を経て編集委員会が決定する。

B) 個人情報保護と医学研究に関する指針遵守

1. 人体を対象とした研究で、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」などにより施設における倫理委員会の承認が必要とされる研究については、倫理委員会で承認を得たこと及びその承認番号と承認日を論文の「方法」に記載する。
2. 症例報告に関しては倫理審査の承認を必要としないが、未承認の薬剤または機器を用いた報告は倫理審査の承認を必要とする。個人情報保護のために、個人の特定につながる情報を含まないものとする。実際に掲載される写真・画像を提示して患者から文書で同意を得て、その旨を症例の記述部分に記載する（患者同意書は学会ホームページからダウンロードする）。未成年を対象とした研究の著者は、保護者の同意を求め、7歳以上の児童の場合は、児童自身からも同意を得る。また、意識障害や認知症などにより当該個人より同意書を得ることが困難な場合は、適切な代諾者（配偶者、親、子、後見人など）から同意を得る。本人が死亡している場合は遺族の同意を得る。
3. 動物を対象とした研究は、それぞれの研究機関における動物実験倫理審査委員会等の審査に基づいた機関の長の承認を得たこと及びその承認番号と承認日を論文の「方法」に記載する。

C) 執筆要項

1. 投稿の種類には原著論文、症例報告、短報、Letters to the Editor、総説、ミニ・レビュー、研究施設紹介、学会印象記がある。短報は **originality** の高い速報もしくは予報的な報告を目的とする。Letters to the Editor は過去1年位内に本誌に掲載された論文に対する各種の意見とする。総説は自律神経学上の問題について最近の知見を総説的に記述したものとし、

著者の原著報告であってはならない。但し著者の業績を中心に述べることは差しつかえない。ミニ・レビューは簡潔で短い総説とする。

2. 日本自律神経学会総会における会長講演，特別講演，教育講演，シンポジウム等の原稿はミニ・レビューの規定に従う。
3. 著者数は原則として5名以内とする。
4. 原稿の長さは下記の通りとする。
 - 1) 原著論文：本文は8,000字以内（英文原著では3,500語以内），和文抄録は400字以内，英文抄録は250語以内，キーワードは5個以内，引用文献は30以内，写真・図・表は計8個以内とする。
 - 2) 症例報告：本文は6,000字以内（英文症例報告では2,500語以内），和文抄録は400字以内，英文抄録は250語以内，キーワードは5個以内，引用文献は30以内，写真・図・表は計6個以内とする。
 - 3) 短報：本文は3,000字以内（英文短報では約1,300語以内），和文抄録は300字以内，英文抄録は200語以内，キーワードは5個以内，引用文献は10以内，写真・図・表は計2個以内とする。
 - 4) Letter to the Editor：本文は1,600字以内（英文Letter to the Editorsでは700語以内），キーワードは3個以内，引用文献は5以内とし，抄録・写真・図・表はなしとする。
 - 5) 総説：本文は16,000字以内（英文総説では5,000語以内），和文抄録は400字以内，英文抄録は250語以内，キーワードは5個以内，引用文献は50以内，写真・図・表は計8個以内とする。
 - 6) ミニ・レビュー：本文は4,500字以内（英文ミニ・レビューは2,000語以内），和文抄録は300字以内，英文抄録は200語以内，キーワードは5個以内，引用文献は30以内，図・表は計6個以内とする。
 - 7) 研究施設紹介，学会印象記：本文は3,000字以内，写真・図・表は計3個以内とする。キーワード・抄録はなしとする。
5. 原稿の構成：表紙，和文抄録・和文キーワード，英文抄録・英文キーワード，本文，謝辞，利益相反に関する記載，AI利用に関する記載，文献，図の説明の順で作成する。表，図は別のファイルに作成する。
6. 表紙には題名，著者名，所属機関名（複数の場合は著者名の肩にabc...で記す）の和文と英文を併記する。さらにcorresponding authorの名前，所属・所在地，メールアドレスを記載する。英文題名は，第一語の頭文字のみ大文字とし，省略語を用いない。
7. 抄録とキーワード：抄録の文字数とキーワード数は前述の原稿の長さの項〔4.1）～6〕を参照とする。和文抄録と英文抄録を別の頁に作成する。和文抄録の下に和文キーワー

ド、英文抄録の下に英文キーワードを記載する。英文抄録は原則として **native speaker** によるチェックをうけたものとする。英文論文には和文抄録は必要としない。

8. 本文：原著論文では、「はじめに」、「対象・方法」、「結果」、「考察」から構成する。症例報告の場合は、「はじめに」、「症例」、「主訴」、「既往歴」、「家族歴」、「現病歴」、「考察」の順に記述する。

9. 利益相反の状態：すべての著者は利益相反状態の有無を論文末尾、謝辞または引用文献の前に記述し開示する。利益相反状態に該当するかについては投稿時添付書類の自己申告による COI 報告書用紙を参考にする。なお、利益相反状態は論文に下記の如く記述する。

[例 1] 利益相反状態を有する場合：

“○○○○は本論文に関連して△△株式会社より研究費を受けている。その他の著者は開示すべき利益相反はない。”

[例 2] 利益相反状態を有していない場合：

“すべての著者は開示すべき利益相反はない。”

10. 引用文献：本文での引用順に並べて番号を付す。

本文中では以下のように上付き括弧付き数字で示す。

例) 起立性低血圧は自律神経不全の代表的な症候である¹⁾。

例) 多系統萎縮症では吸気時の喉頭喘鳴がみられる²⁴⁾。

文献の表記方式は以下の形式に従う。

<雑誌> 著者名. 論文題目. 雑誌名 (類似の誌名のあるときは発行地) 西暦発行年 ; 巻 : 起始頁-最終頁.

<書籍> 著者名. 書名. 版数. 巻数. 発行所名 : 発行地 : 西暦発行年. 起始頁 - 最終頁.

<書籍> 著者名. タイトル. 書名. 版数. 巻数. 編集者氏名. 発行所名 : 発行地 : 西暦発行年. 起始頁 - 最終頁.

引用文献の著者氏名、編集氏名が 4 名以上の場合には最初の 3 名を書き、他は ～ら、または、et al. とする。文献の表題は、副題も含めてフル・タイトルを記す。抄録の引用は表題の最後に (会)、欧文発表の場合は (abstr) とする。以下に例を示す。

例 1) Boucsein, W. *Electrodermal activity*, 2nd ed. Springer Science+Business Media: New York: 2012. p. 1-86.

例 2) 平山恵造. 自律神経症候. 神経症候学 II. 改訂第 2 版. 文光堂: 東京: 2010. p.1024 - 1080.

例3) Mathias CJ, Low DA, Iodice et al. Investigation of autonomic disorders. In: Autonomic Failure: A Textbook of Clinical Disorders of the Autonomic Nervous System. 4th ed. Bannister R, Mathias CJ, eds. Oxford Univ Press: London: 2013. p. 259 - 287.

例4) 朝比奈正人. 自律神経系の機能検査法. 内科学 分冊版 V. 第12版. 矢崎義雄, 小室一成, 渥美達也ら編. 朝倉書店: 東京: 2022. p. 232 - 234.

例5) Wieling W, Kaufmann H, Claydon VE, et al. Diagnosis and treatment of orthostatic hypotension. Lancet Neurol 2022; 21: 735 - 746.

例6) 中里良彦, 佐藤貴浩, 朝比奈正人ら. 特発性後天性全身性無汗症診療ガイドライン改訂版. 自律神経 2015; 52: 352-359.

例7) 鍵谷方子, 内田さえ. エストロゲン長期投与が卵巣交感神経機能に及ぼす影響 (会). 自律神経 2016; 53: 192.

11. 図の説明: 別頁に記載する.

12. 用紙・書式: A4 サイズの用紙で, 横書きとし, 1 行の字数は 40 字以内, 1 頁の行数は 30 行とする.

13. 用語・単位: ひらがな, 新かなづかいを用い, 正確な句読点をつける. 外国語, 外国人名, 地名, 薬品名は原語のまま用いる. しかし一般に日本語化している外国語は, カタカナを用いてもよい. 度量衡の単位は mm, cm, mL, dL, L, ng, µg, mg, g, kg などと記す. また年号は西暦で統一する.

14. 外国語表記: タイトル, 文中の外国語単語 (病名, 一般薬名等) の頭文字は, ドイツ語名詞および文頭の場合を除き原則として小文字とする. 略語の使用は極力避け, 初出時にはフルスペルを入れる [例: myelin basic protein (MBP)].

15. 写真・図: 図は片段幅 (約 8 cm) または全段幅 (17 cm) に収まる大きさで作成する. 画像形式は tiff, pdf, eps または svg とする. 解像度は 350 dpi 以上でカラーも可とする.

16. 図表の転載許可: 著者が転載元の著作権保持者より取得する.

17. 生成系 AI の使用について

1) 生成系 AI を使用した場合は, 本文の最後, 引用文献のすぐ前に, 使用したツールとその理由を明記する.

2) 生成系 AI で作成された図について, 画像剽窃や著作権侵害の疑いが払拭できないものは使用しない.

D) 原稿・添付書類の送り方

1. 論文は, オンライン査読システム ScholarOne (<https://mc.manuscriptcentral.com/jans>) にて投稿する.

2. 投稿時の必要書類（投稿承諾書および著作権譲渡同意書、自己申告による COI 報告書、患者同意書）を学会ホームページ <http://www.jsnr-net.jp/about/gakkaishi.html> よりダウンロードする。記入した書類は投稿時にオンライン査読システム ScholarOne にアップロードする。

〈連絡先〉

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-24-12

株式会社アイペック内 日本自律神経学会編集委員会事務局

メール : pubinfo@jsan-net.jp

Fax : 03-5978-4068

3. 修正稿は、原則として査読結果の送付後 3 カ月以内に投稿する。

E) 論文採択後・掲載

1. 本誌の掲載料は指定ページ数までは無料であるが、頁数が一定限度を超える場合などには、超過料金を徴収する。

1) 頁超過料金：刷り上がりの規定頁数は、原著論文 6 ページ、症例報告 4 頁、短報 3 頁、Letter to the Editor 1 頁、総説 10 頁、ミニ・レビュー 4 頁、研究施設紹介・学会印象記 3 頁までとする。これを超えた場合は 1 頁つき 15,000 円を請求する。

2) 図版作製費：トレースまたは修正を要したものは実費を請求する。

3) 別刷作製は行わない。

2. 著作権：著作権（掲載論文の印刷、刊行、図表の引用および転載に関する許可の権限）は日本自律神経学会に帰属する。掲載論文の抄録部分のデータベースや抄録雑誌への二次的使用ないし転載、および当該論文の複写機器による電子的 / 光学的複写の許諾権は日本自律神経学会に委託されたものとする。またこれによる使用料は日本自律神経学会に帰属するものとする。

3. 63 巻 1 号より紙媒体の発行は行わず、J-STAGE での電子公開となる。